

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	米子聖園天使園一部改築工事	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、防	平均居住人員	45 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2022年3月8日
敷地面積	4,472 m <sup>2</sup>	作成者	高島 永二
建築面積	1,095 m <sup>2</sup>	確認日	2022年3月8日
延床面積	2,242 m <sup>2</sup>	確認者	高島 永二

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.1	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 1.8
音環境: 2.8, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 2.5, 空気質環境: 4.3	機能性: 2.8, 耐用性: 3.0, 対応性: 2.8	生物環境: 1.0, まちなみ: 2.0, 地域性: 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.0	LR2のスコア = 3.0	LR3のスコア = 2.9
建物外皮: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.3, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.2, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	一般的な水準を確保するような設計	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
児童養護施設として一般的な水準を確保するような設計	児童養護施設として一般的な水準を確保するような設計	一般的な水準を確保するような設計
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ基準に適合した設計	部材の再利用可能性向上のため、躯体と仕上げ材を容易に分別可能とする	一般的な水準を確保するような設計

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される